

中国の特許権侵害紛争における権利保護範囲の解釈と侵害判断

目 次

第1章 はじめに	3
一 本書の目的	3
二 本書の構成	3
第2章 中国の特許権侵害紛争の概要と特徴	4
一 総説	4
二 中国の特許権侵害紛争の概要と特徴	4
1 ．法院における特許侵害訴訟	4
(1) 第一審	4
(2) 第二審(上訴審)	6
(3) 再審	7
2 ．行政機関による行政処理	7
三 中国の特許権侵害紛争に関する統計データ	8
第3章 特許の権利保護範囲の解釈と侵害判断に関連する法令等と体系的な位置づけ ...	9
一 特許の権利保護範囲の解釈と侵害判断に関連する法令等	9
1 ．特許法	9
2 ．特許法実施細則	10
3 ．「特許紛争事件の審理における法律適用問題に関する若干の規定」	10
4 ．「特許権侵害紛争事件の審理における法律適用の若干問題に関する解釈」	11
5 ．「特許権侵害紛争事件審理の法律適用の若干問題に関する解釈(二)」	11
6 ．北京市高級人民法院による「特許侵害判定指南(2017)」	11
7 ．広東省高級人民法院による「標準必須特許紛争事件の審理に関する 業務手引(試行)」	12
8 ．国家知的財産権局による「特許権侵害判断及び特許詐称行為認定指南 (試行)」	13
9 ．国家知的財産権局による「特許侵害行為認定指南(試行)」	13
10 ．判例	13
二 関連法令等の体系的な位置づけ	14
第4章 発明特許及び実用新案特許の権利保護範囲の解釈と侵害判断の基準の内容 ...	16
一 発明特許及び実用新案特許	16
1 ．総説	16
2 ．出願書類	16
(1) 出願の書類	16

(2) 出願願書の記載事項.....	17
(3) 明細書.....	17
(4) 図面.....	18
(5) 明細書の要約.....	18
(6) 特許請求の範囲.....	19
(7) 独立請求項及び従属請求項.....	19
二 発明特許及び実用新案特許の権利保護範囲の解釈.....	20
1 . 総説.....	20
2 . 解釈の基準となる主体.....	20
3 . 解釈の対象となる請求項.....	21
4 . 技術方案・技術的特徴.....	21
5 . 独立請求項及び従属請求項の解釈.....	22
6 . 請求項を解釈する際に遵守すべき原則.....	24
7 . 請求項の解釈のために用いる情報.....	25
8 . 明細書.....	25
9 . 図面.....	25
10 . 実施例.....	26
11 . 摘要.....	26
12 . 用語の定義.....	26
13 . 特許文書中の誤字等.....	27
14 . 請求項に不明確等の問題がある場合.....	27
15 . 献納原則.....	29
16 . 出願経過等の参酌.....	30
17 . 用途の特徴が限定された製品の請求項.....	30
18 . 使用環境又は条件の特徴が限定された製品の請求項.....	31
三 侵害判断.....	31
1 . 技術的特徴の比較.....	31
2 . オール・エレメント・ルール.....	32
3 . 「余計指定原則」の否定.....	32
4 . 文言侵害.....	33
5 . 均等侵害.....	33
(1) 総説.....	33
(2) 基本的に同一の「手段」・「機能」・「効果」.....	34
(3) 容易想到性.....	35
(4) 均等論の適用要件の判断順序.....	36
(5) 均等侵害の判断時期.....	36
(6) 均等的特徴.....	36
(7) 技術的特徴の置換の方法.....	36

(8) 数値特徴の限定	37
(9) 出願経過等の参酌.....	37
四 特殊類型の発明特許及び実用新案特許	40
1 . 機能的クレーム	40
2 . プロダクト・バイ・プロセス・クレーム	40
3 . 閉鎖式請求項.....	41
4 . 方法特許.....	45
第5章 意匠特許の権利保護範囲の解釈と侵害判断の基準の内容	46
一 意匠特許	46
1 . 総説.....	46
2 . 出願書類.....	46
(1) 出願の書類.....	46
(2) 出願願書の記載事項	47
(3) 意匠の製品・所属分類	47
(4) 簡単な説明.....	47
(5) 意匠の見本・模型.....	48
(6) 意匠の図面・写真.....	48
(7) 図面の補充・削除.....	48
二 意匠特許の権利保護範囲の解釈.....	48
1 . 総説.....	48
2 . 解釈の対象となる意匠.....	49
3 . 図面・写真	49
4 . 色彩.....	50
5 . 簡単な説明	51
6 . デザイン要点.....	51
7 . 平面製品.....	51
8 . 意匠製品の種類	51
三 侵害判断	52
1 . 判断の基準となる主体.....	53
2 . 判断の対象となる客体.....	53
3 . 同一又は類似種類の製品	53
4 . 意匠の同一又は類似の対比判断	54
(1) 総説.....	54
(2) 意匠の同一又は類似の対比判断の方法.....	54
(3) 色彩・透明性.....	56
(4) 平面製品の意匠	56
(5) デザイン空間.....	56

(6) 製品の実用的機能.....	57
(7) 慣用デザイン.....	57
四 特殊類型の意匠特許.....	62
1. セット製品・組物製品.....	62
2. 包装類製品.....	63
3. 状態変化製品.....	64
4. グラフィカル・ユーザ・インターフェース (GUI).....	64
第6章 特許侵害行為.....	66
一 単独・直接の侵害行為.....	66
1. 総説.....	66
2. 製造.....	67
3. 使用.....	70
4. 販売.....	70
(1) 総説.....	70
(2) 販売行為と判断される時期.....	71
(3) 商品サンプル.....	71
(4) 抱き合わせ販売・贈呈.....	71
5. 販売の申出.....	74
6. 輸入.....	74
7. 方法特許の使用等.....	75
(1) 総説.....	75
(2) 新製品の製造方法の発明特許に係る特許権侵害紛争における 立証責任の転換.....	75
(3) 製品の製造方法の発明特許の拡張保護.....	78
二 共同侵害行為.....	79
三 間接侵害行為.....	88
第7章 抗弁.....	89
一 総説.....	89
二 特許権無効の抗弁.....	89
三 特許権濫用の抗弁.....	90
1. 総説.....	90
2. 悪意による特許権の取得.....	91
3. 標準に係る知的財産権濫用行為.....	91
四 禁反言の抗弁.....	95
五 公知技術の抗弁・公知デザインの抗弁.....	100
1. 総説.....	100

2 . 公知技術の抗弁	100
(1) 公知技術の抗弁の定義	100
(2) 出版物の公開	101
(3) 公然使用	101
(4) 被疑侵害技術と公知技術の対比	102
3 . 公知デザインの抗弁	108
(1) 公知デザインの抗弁の定義	108
(2) 公知デザインの確定	108
(3) 判断の基準となる主体	108
(4) 公知デザインの挙証責任	108
(5) 同一又は類似種類の製品	109
(6) 被疑侵害技術と公知デザインの対比	109
六 権利消尽の抗弁	110
1 . 総説	110
2 . 特許権者等による製品の交付	111
3 . 特許権者等による制限的条件の付加	111
4 . 国内消尽	111
5 . 国際消尽	112
七 先使用の抗弁	113
1 . 総説	113
2 . 特許出願日以前に既に同一の製品を製造し又は製造に必要な準備を 完了したこと	114
3 . 先使用権者が独自に研究開発し又は合法的ルートにより取得したこと	114
4 . 先使用権者が従前の範囲内で発明創造を製造・使用すること	115
5 . 先使用の抗弁と公知技術の抗弁の関係	116
八 特許権者の許諾の抗弁	118
1 . 総説	118
2 . 特許権者による明示的許諾	118
3 . 特許権者による黙示的許諾	119
4 . 指定許諾・強制許諾	119
九 非生産経営目的の抗弁	120
十 合法的な供給源からの善意譲受の抗弁	121
十一 科学研究及び実験目的の抗弁	121
十二 薬品及び医療機器の行政審査認可の抗弁	122
十三 臨時的通過の抗弁	123
十四 時効の抗弁	124
十五 国家・公共の利益の抗弁	124

参考資料	判決編.....	129
参考資料	法令編.....	169
	・「特許法の現行法と改正草案の対比表」(抄録)	171
	・「特許法実施細則」(抄録)	182
	・「特許紛争事件の審理における法律適用問題に関する若干の規定」(抄録)	196
	・「特許権侵害紛争事件の審理における法律適用の若干問題に関する解釈」	197
	・「特許権侵害紛争事件の審理における法律適用の若干問題に関する解釈(二)」	202
	・「特許侵害判定指南(2017)」	209
	・「標準必須特許紛争事件の審理に関する業務手引(試行)」	239
	・「特許権侵害判断及び特許詐称行為認定指南(試行)」(抄録)	245
	・「特許侵害行為認定指南(試行)」	358
索引	377